



四国西予ジオパーク
SHIKOKU SEIYO GEOPARK

西予市議会だより

かけはし

かけはしになれる議会 親しまれる議会をめざして



令和2年 第4回 定例会

特集

西予市商工会青年部宇和支部 × 議会



定例会報告
議長新年のごあいさつ
決算の認定
市民と議会との意見交換会



後列左から 古谷佑一さん・和氣宗一郎さん・芝貴洋さん・沖野恭彰さん
前列左から 渡邊智幸さん・薬師寺慶多さん・徳山義晃さん・岡村康弘さん・上甲晃久さん

活動内容や商工会における青年部の役割は

■商工会青年部宇和支部は45歳以下の事業者・後継者22名で活動しています。年に2回のあいさつ運動、JR卯之町駅の風鈴つり、朝霧湖清掃活動、バス釣り大会のサポート、れんげまつりへの出店、そして宇和米博物館でのZ・1グランプリ等を開催し、県内外へも西予市宇和町の魅力を発信しています。

また、定例会での情報交換や、イベントの進め方等の話し合い、愛媛県商工会青年部連合会や、西予エリアで開かれるセミナーへも参加し、個々の会社

のリーダーになるための勉強や交流も行っています。

商工会青年部に参加してよかったと思えることは

■同じ仲間が出来たというのが一番いいことだったと思います。同世代で、自営業で次世代を引き継ぐ方なので、悩みを共有したり、相談したりできます。イベントを開催して、地域を盛り上げることも大事ですが、青年部活動として勉強会もあるので、会社経営の勉強もできますし、地域のつながりもできます。主体的に役員になって動く方が面白いと思います。

卯之町「はちのじ」まちづくり整備計画についての要望等は

■はちのじの複合施設の活用方法の会議に参加したりしますが、いまいち「はちのじ」の意味がわかりにくい部分があります。「複合施設ができる」と漠然と思うようなところもあります。

■ソフト事業について、宇和町内の商店街はいくつかに分かれており、その商店街の垣根を超えてソフト事業をやっていくべきだと思います。

PFI事業者がもっと自由な発想で企画をすれば、さらに面白いことができるのではないかと思います。

今後の課題は

■西予市商工会といっても旧5町の商工会が合併して、まだ支部ごとにバラバラなイメージがあつて、そこをまとめるところが課題の一つです。

■人口や事業所も減少する中で、後継者も減ってきていますが、若い人たちがなかなか商工会青年部に入ってくれません。青年部活動のもっと楽しいことや、家業とつながるところなど、プラスになるような魅力を発信していく努力が必要だと思います。

■今後、若手でこれから起業を目指す方、かつ、西予市商工会青年部に入会する前提の方にむけて、市からの利子補給制度などの優遇策があれば、起業者も増えるのではないだろうか。こうした起業者に対する補助制度を望みます。

■コロナ禍の中での事業者への対応は、西予市がどこよりも早く、西予市中小企業者等経営安定補助金事業で50万円補助されました。市内経営者が住みよい、働きやすい、経営しやすいようなまちにしていく施策は多方面でプラスになると思います。

※ 11月4日には西予総合福祉会保育士、西予市消防団幹部の皆さんと意見交換会を行いました。(18・19ページに掲載)



特 集

商工会 青年部 宇和支部 × 議 会

市民の皆さんのご意見を議会活動に反映させるため「市民との意見交換会」を開催し、西予市商工会青年部宇和支部の皆さんにお話を聞きました。

開催日 11月13日
西予市商工会（宇和町）



令和2年 第4回定例会



西予市のこんなことが決まりました。

会期 11月27日～12月18日

会議期間 22日間

第4回定例会の議案は

令和2年度補正予算	7件
条例制定	1件
条例改正	11件
条例廃止	1件
指定管理者の指定	4件
財産の無償貸付	1件
専決処分の承認	1件
専決処分事項の報告	1件
請願・陳情	2件
議員提出議案	4件

今号では、その中から2つを Pick up

全ての議案と結果は、P7をご覧ください。

年頭のごあいさつ



西予市議会議長 中村 一雅

新年あけましておめでとございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症で西予市でもその対策に明け暮れた年でした。

また、4月には市議会の改選があり、定数21名から3名減の18名が選出されて、新たな顔ぶれによる議会がスタートしました。私も議長職という重責に改めて身の引き締まる思いであります。

議会とは、市民の声を行政に届ける機関であります。皆様の声に真摯に耳を傾け、それが政策に反映できるよう努力して参ります。まさに「かけはし」の役割です。

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興、人口減少・少子高齢化対策、地場産業の振興など、課題は山積していますが、西予市の明るい未来を信じて進んでいきたいものです。

本年が、皆様にとって幸多き1年になることをご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

議案ピックアップ



〈議案第124号 西予市乳幼児及び児童医療費助成条例の

一部を改正する条例制定〉

Pick up 1 令和3年4月より、小中学生が対象の児童医療費助成制度が拡充されます

西予市では、平成30年4月から、通院について児童1人につき、月額自己負担額2千円を引いた額を助成している。これまでは、自己負担分を支払い、月ごとにまとめて申請する必要があったが、乳幼児医療と同じく受給資格証を医療機関受診の際に窓口で提示することにより、保険診療に係る自己負担分の支払いが不要となるため、利便性も大きく向上する。

県内の自治体では、子育て支援を目的として、児童医療費助成制度を一部助成から無償化へと段階的に拡充してきた。「子育てするなら西予」を実現するための、重要な支援策が実現する。

Pick up 2 新型コロナウイルス感染症により影響を受けられている世帯へ支援を行います

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に3つの支援事業を行います。

①子育て応援臨時特別給付金給付事業
国の特別定額給付金の支給対象外の新生児を持つ世帯に5万円を給付する。

②ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業
子育てと仕事をひとりで担う低所得のひとり親世帯の心身に特に大きな困難が生じていることを踏まえ、子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、5万円を給付する。

③大学生等生活応援事業
日常生活への影響を受けた大学生等に対し、経済的な負担軽減と修学継続を支援するため、5万円を給付し、市特産品を送付する。

令和２年第３回定例会議決結果

(令和２年９月１９日～１０月８日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第１１５号	(仮称)四国西予ジオミュージアム建築工事請負契約について	１０月９日	原案可決
議案第１１６号	小規模住宅地区等改良事業用地の取得について	１０月９日	原案可決
議案第１１７号	令和２年度西予市一般会計補正予算(第８号)	１０月９日	原案可決
議案第１１８号	令和２年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算(第３号)	１０月９日	原案可決
認定第１号	令和元年度西予市一般会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第２号	令和元年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第３号	令和元年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第４号	令和元年度西予市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
認定第５号	令和元年度西予市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第６号	令和元年度西予市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第７号	令和元年度西予市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第８号	令和元年度西予市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第９号	令和元年度西予市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	１０月９日	認定
認定第１０号	令和元年度西予市水道事業会計決算の認定について	１０月９日	認定
認定第１１号	令和元年度西予市病院事業会計決算の認定について	１０月９日	認定
認定第１２号	令和元年度西予市野村介護老人保健施設事業会計決算の認定について	１０月９日	認定

令和２年第４回定例会議決結果

(令和２年１１月２７日～１２月１８日)

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第１１９号	西予市建設残土処理場管理条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２０号	西予市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２１号	西予市介護保険条例等の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２２号	西予市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２３号	西予市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２４号	西予市乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２５号	西予市生活交通バス条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２６号	西予市有料駐車場条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２７号	西予市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２８号	西予市地域福祉基金条例を廃止する条例制定について	１２月１８日	原案可決
議案第１２９号	西予市忍川高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	１２月１８日	原案可決
議案第１３０号	西予市卯之町駅前複合施設の指定管理者の指定について	１２月１８日	原案可決
議案第１３１号	令和２年度西予市一般会計補正予算(第９号)	１２月１８日	原案可決
議案第１３２号	令和２年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第４号)	１２月１８日	原案可決
議案第１３３号	令和２年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算(第２号)	１２月１８日	原案可決
議案第１３４号	令和２年度西予市介護保険特別会計補正予算(第３号)	１２月１８日	原案可決
議案第１３５号	令和２年度西予市病院事業会計補正予算(第４号)	１２月１８日	原案可決

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第１３６号	財産の無償貸付について	１２月１８日	原案可決
議案第１３７号	西予市明浜農産物集出荷施設の指定管理者の指定について	１２月１８日	原案可決
議案第１３８号	西予市城川高品質堆肥センターの指定管理者の指定について	１２月１８日	原案可決
議案第１３９号	西予市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	１１月２７日	原案可決
議案第１４０号	西予市特別職の職員で常勤のものの給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	１１月２７日	原案可決
議案第１４１号	西予市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	１１月２７日	原案可決
議案第１４２号	令和２年度西予市一般会計補正予算(第１０号)	１２月１８日	原案可決
議案第１４３号	令和２年度西予市国民健康保険特別会計補正予算(第５号)	１２月１８日	原案可決
承認第１０号	専決処分第９号の承認を求めることについて	１１月２７日	原案承認
報告第２０号	専決処分事項の報告について	１１月２７日	報告
請願第２号	加齢性難聴者への補助器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書	１２月１８日	不採択
陳情第２号	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情	１２月１８日	採択
意見書案第３号	小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書(案)の提出について	１１月２７日	原案可決
意見書案第４号	北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国の実現を求める意見書(案)の提出について	１２月１８日	原案可決
意見書案第５号	台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書(案)の提出について	１２月１８日	原案可決
意見書案第６号	地方たばこ税の一部を受動喫煙防止のための分煙環境整備・推進に活用することを求める意見書(案)の提出について	１２月１８日	原案可決
	議員派遣の件について	１２月１８日	承認

表決結果

賛否の別れた議案です。
その他の議案については全会一致です。

番号	件名	和気	宇都宮久見子	信宮徹也	宇都宮俊文	加藤美香	中村一雅	河野清一	佐藤恒夫	山本英明	竹崎幸仁	小玉忠重	源正樹	井関陽一	中村敬治	二宮一朗	兵頭学	森川一義	酒井宇之吉	議決結果
請願第２号	加齢性難聴者への補助器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

(○：賛成　×：反対　欠：欠席　除：除斥　棄：棄権)

※議長は採決には加わりません。

こんな質疑が出ました

大学生等生活応援事業について給付金額の根拠とふるさとの小包の内容は

全国大学生生活協同組合連合会の調査結果によると、大学生の平均１ヶ月の生活費が約１２万円、仕送りが約７万円であり、その差額の５万円を給付額とした。ふるさとの小包は西予市の特産品の取り扱いが可能な事業者等に委託し送っていただけるものを考えている。

小学校中学校情報教育振興事業について機器の購入、入荷の目処はたっているのか

パソコン２４３０台は１２月中旬に契約業者に届く予定。ルーターは本定例会後発注を行い、発注から２カ月程度での納入見込みである。

市道石城地区１０１号線道路改良事業に伴う改良計画での歩道の構成は

車道の両側に約２・５メートルの幅員で設置する予定である。

請願第２号

加齢性難聴者への補助器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書

賛成少数

不採択

厚生常任委員会での審査内容・意見

加齢性による症状は様々で難聴以外の症状の方への補助器購入も含めて検討すべきであるため、耳だけに特化すべきでない。本議会において請願の紹介議員である和気議員から、賛成討論がありました。

陳情第２号

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情

全会一致

採

択

総務常任委員会での審査内容・意見

改正健康増進法の趣旨は「望まない受動喫煙」の防止であり、決して禁煙を強要するものではないことから、喫煙者、非喫煙者双方に配慮した取り組みに有効活用していくことが重要である。

総務常任委員会



委員会では、本会議で付託された議案をより詳しく担当部署から説明を受け、調査・審査します。

5件の議案を審査

- Q** 市内におけるEV（電気自動車）の充電設備の設置状況は
- A** 50kWの急速充電設備が木村チエーン宇和店駐車場及びフジ宇和店駐車場の2カ所に設置されている。
- Q** 卯之町駅前複合施設内チャレンジショップの入居者状況は
- A** 6テナントに対し、市内業者が4軒、市外業者が1軒の入居者が決定している、残り1軒については引き続き市内外へ募集を行っている。

- Q** 令和2年7月に発生した熊本県人吉市での豪雨災害に伴う職員派遣の人数は
- A** 7月から9月の間に、3人×5クールで合計15人を派遣した。

- Q** おイネ賞事業について事業中止の経緯と今後の方向性は
- A** 令和2年初めからの新型コロナウイルス感染症拡大により、7月頃に中止の方向性を見出し、11月には共催である愛媛県医師会並びに日本医師会へそれぞれ正式に伺い、中止を決定した。
- 今後については、基金で運営をしており残り数回で枯渇する状況であるため、事業継続への基金積立も視野に入れている。

所管事務調査

せいの東学校給食センターを視察

平成30年7月豪雨において、完成直前に被災したせいの東学校給食センターが、場所を野村中学校グラウンド敷地内に変更して、令和2年11月に工事完成、令和3年1月に供用開始の運びとなった。

センターは、アレルギー対応調理室を完備しており、子どもたちの安全安心を守ることができる。また、衛生的で室温管理がしやすく、働きやすい職場環境である。一日770食、最大900食の調理能力を備えており、管内の児童生徒たちの食育の一助となることに期待したい。



給食センター内の移動式シンク

厚生常任委員会



12件の議案を審査

- Q** 乳幼児及び児童医療費助成現物給付方式とは
- A** 助成対象者が医療機関を受診の際、窓口で受給資格証を提示することで自己負担の支払いが不要となる。実施に当たり、重複受診の防止、診療時間内の受診勧奨、健康づくりの推進の3点を周知し、医療費の適正化に務める。
- Q** 外国人材活用事業の現在の状況は
- A** モンゴル国から2名を介護人材として受け入れ予定だが、新型コロナウイルス感染症拡大により、人材の日本語講習などが遅れており、現在も引き続きモンゴル国で入国前講習等を受けている状況である。

- Q** 新型コロナウイルス感染症が広がっているが国民健康保険の基金残高は十分か
- A** 令和2年度には、総額約5億3000万円の積立金となり、爆発的な感染になると厳しいが、現状では十分な基金と考えている。

- Q** 市民病院の院内清掃業務委託とは
- A** 新型コロナウイルス感染症の流行により、病院の衛生管理の重要性を認識し、これまで以上に衛生的な院内環境を実現するため、病院清掃の認定を有する事業者にとり、令和3年4月から業務委託する。

所管事務調査

学童保育が充実します

明間、下宇和、田の筋地区の児童を受け入れている「明下田クラブ」は、皆田小学校近くに建設中で、令和3年の春休みから利用開始予定である。

また、中川、石城、多田地区の児童を受け入れている「ななほし中川」は、利用者の増加により、スペースが足りず、小学校音楽室と専用スペースの2カ所で見学を受け入れている状況。この問題を解消するため、令和3年度中に中川小学校グラウンド敷地内に建設を検討している。

子育て支援のより一層の充実を期待したい。



あした建設中の明下田クラブ（宇和町皆田）

産業建設常任委員会



6件の議案を審査

Q 西予市建設残土処理場管理条例の内容は

A これまで処分料金を徴収して残土を受け入れる市が管理する建設残土処理場はなかったが、立木補償、用地買収を行い、令和2年9月10日から残土処理場工事に着手し、令和3年1月からの本格的な建設残土を受け入れるに当たり、西予市建設残土処理場の管理及び運営に関する必要な事項を定めるために本条例を制定する。

Q 買い物応援給付金で見込まれる不
用額4800万円とは

A せいよGOTO買い物キャンペーンの補助として当初の計画では1万8000世帯、全世帯を対象として予算を計上していたが、実際の申請は約半分の8245世帯にとどまったための減額である。

Q 市道石城地区101号線の道路改良事業に係る債務負担行為限度額1億9000万円とは

A 石城第3踏切の拡幅を目的に平成23年度から事業化しており、令和3年度が計画の最終年度となる。踏切内の工事でJR四国との工事委託契約になる。並びに市道の道路改良工事もあり、令和3年4月中に契約できるように、本年度から契約に係る諸手続、準備を行う必要がある、今回補正計上をするものである。

所管事務調査

災害関連緊急治山事業（明間、四道地区）を視察

最上部の法枠工から6基目の土留工まで完成し、現在7基目の土留工の建設中であつた。

令和2年11月27日には6基が完成し、崩壊箇所の安定化が図られたこと、また発災後の降雨状況からも拡大崩壊等がみられず、一定の安全性が確保されたとして避難指示が解除された。

発災から2年半が経過しようとしているが、少しずつ日常生活が取り戻せつつある状況であつた。



明間四道地区の災害復旧工事現場

一般質問

みなさんの生活にかかわる内容について質問を行います。

一般質問



宇都宮 俊文

喫煙について

Q 市内公共施設に喫煙所を設置すべきではないか

A 改正健康増進法の趣旨は、望まない受動喫煙の防止であり、喫煙者、非喫煙者双方に配慮したうえで分煙化を図ることが重要である。

現在、本庁舎敷地内において駅前複合施設が建設中であることも踏まえ、受動喫煙防止を念頭に置き「特定屋外喫煙場所」設置について検討する。

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 市内経済対策事業の内容は



分煙環境の整備を

A

市内の事業活動の継続、拡大を目標に国の地方創生臨時交付金を活用し、「中小企業者等経営安定補助金」「中小企業者等経営安定給付金」「店舗リニューアル補助金」「店舗リニューアル補助金」「商業振興商品券（飲食応援前売り券）」「買い物応援事業」「せいよGOTOジョオツアー」等の支援策に取り組んでいる。そのほか、愛媛県が創設する「新型コロナウイルス感染症対策資金」の融資に対する利子補給、国の雇用調整助成金の決定を受けた事業者に対しての上乗せ助成制度などと県と連携した2事業も進めている。

一般質問



佐藤 恒夫

産後ケアの取組について

Q 西予市の産後ケア事業の取組は

A 産後ケア事業は、現在実施していないが、乳児全戸家庭訪問事業により、出産退院後速やかに産婦乳児のいる家庭を保健師が訪問し、保健指導や育児に対する悩みの相談を行っている。

西予市では、令和3年度から子育て世代包括支援センターの立ち上げを計画している。産後ケア事業はこのセンターが中心となり関係課や関係機関と連携して進めていく。

復興まちづくり計画について

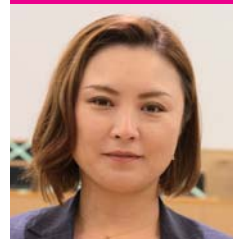
Q 復興まちづくり計画における復興事業の進捗状況は

A 乙亥会館・野村保育所・せいよ東学校給食センターなどの施設の竣工、明間四道地区の避難指示解除、これから更に、野村町の災害公営住宅等の完成など、多くの方々の協力により着実に復旧復興が進んでいる。引き続き復興まちづくり計画に基づいて計画期間内の事業完了に努めていく。



市内の婦人科クリニック（宇和町）

一般質問



宇都宮 久見子

ふるさと納税について

Q 本年度見込件数と見込額、来年度からの見込件数と見込額、今後の取組みは

A 令和2年度は、寄付件数1万8千件、寄付金額2億8千万円を見込んでいる。来年度は目標件数2万件、寄付金額3億円を目標とする。効果が見込めたふるさと納税の各ポータルサイト内の広告や寄付者との直接的な交流を行う。PRイベントや同窓会、ふるさと会などに参加を検討する。返礼品の充実拡大のため、参画事業者の獲得、西予市ならではの魅力ある返礼品の開発を進めていく。

行政諸手続きのキャッシュレス化について

Q 進捗状況は

A 紙幣がコロナウイルスを拡散している可能性があるとの報告もあり、対策として新生活様式対応行政サービス構築事業の1つとして、キャッシュレス化を進める。バーコード、クレジットカードによる市税の納付、諸証明書発行手数料など窓口で支払う手数料についてもバーコード決済に対応し、令和3年度中に導入する計画である。



西予市ホームページより

一般質問



竹崎 幸仁

危機管理について

Q 内閣府の進めているQ・ANPIの内容とその必要性は

A Q・ANPIとは、避難所に端末を設置し、準天頂衛星を経由して関係機関に情報を伝達するシステムで、地上の通信網が途絶し、地域が孤立した場合でも通信手段として使用可能となる。孤立した集落の安否確認や早急な救助・救援にもつながり、海岸部や山あいの集落の安心・安全には重要である。今回、この実証・調査に参加し、将来的な導入も検討していく。

高校魅力化事業について

Q 市としての今後の展望は

A 現在、西予市内県立高等学校魅力化推進協議会設置要綱を制定し、各分野からの意見を求め、公営塾の運営や高校存続のための最善策を導き出せるよう準備している。今後、協議会での意見をまとめ、愛媛県へ要望していくなど、県立高校振興計画へ反映してもらえないかと考えている。



三瓶分校魅力化プロジェクトチームの特別授業

一般質問



二宮 一朗

地域づくり活動センターについて

Q 運用開始までに、地域での話し合いをする時間を作る必要があると思うが

A 住民と行政の協働を市民検討委員会で検討している。積極的な検討が進められており、大変ありがたく思っている。各地域づくり組織等に対しては、来年度を待たずに、センター化に向けた検討と地域内での話し合いを依頼していく。

西予市の産業について

Q ツーリズムを産業にできないか

A 「GOTOせいよジョツア」の取り組みで築いた環境資源や野生の動植物、地域との交流など、身近な魅力を新たなツーリズムとして取り組めると考える。



地域づくり活動センター市民検討委員会

一般質問



酒井 宇之吉

住んでよかった街づくり対策について

Q 市主催で金婚式を実施しては

A 金婚を迎えられた夫婦に対し、1万円相当の記念品を贈呈していたが、平成17年度に敬老事業全般の見直しを図り廃止した。現代の多様化する結婚の形態に対する世論やプライバシー等の問題もあり、市で取り組むべきか今後検討していく。

コロナ禍での産業振興について

Q アコヤ稚貝大量死、核入母貝不足、コロナ禍での販売不振など、経営悪化が予想される養殖業者への支援は



真珠養殖いかだ

Q 障がい者の避難計画の現状と改善計画は

A 西予市避難行動要支援者避難支援計画を令和2年1月に策定した。

避難行動要支援者とは、高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など要配慮者の内、災



要支援者への配慮を

●北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国の実現を求める意見書

北朝鮮による拉致問題を、最優先、最重要課題と位置付け、国際社会と連携を強化し、あらゆる手段を講じて、一刻も早い完全解決を図るよう強く要望する。

●地方たばこ税の一部を受動喫煙防止のための分煙環境整備・推進に活用することを求める意見書

望まない受動喫煙を防止するために、地方たばこ税の一部を分煙環境整備として活用できる全国制度の整備と実施について、責任を持って取り組むよう要望する。

一般質問



和気 数男

障がい者の各種助成制度及び補助事業について

Q 介護認定者の障害者控除認定の周知徹底は

A 現在、十分な周知が図れていない状況である。今後は、活用促進を図るため、介護保険啓発パンフレットや広報誌、ホームページ等を通して周知徹底を行う。また、介護施設等に対しては、制度の活用について再周知を行う。

害発生時に安全な場所に避難する際に支援を必要とする方々である。

今後は、要支援者名簿をもとに一人ひとりの避難支援計画、いわゆる個別計画について、民生委員、自主防災組織、ケアマネージャー、相談支援など、関係者の協力を得ながら、地域の実情に合わせ、作成を進めていく。

国に対し、意見書を4件提出しました

●小規模事業者に対する支援及び支援体制の拡充・強化に関する意見書

厳しい環境下にある小規模事業者に対する支援の拡充、延長を図ること、商工会の人員を増員し、支援体制の抜本的強化を図ることについて、実現するよう強く要望する。

●台湾の世界保健機関（WHO）への参加を求める意見書

平成29年度以降、参加が叶わない状況が続いている。保健衛生分野で豊富な知見と経験を有する台湾の参加が妨げられてはならない。

関係各国・地域と連携し、WHOに対する働きかけを強化するよう強く要望する。

一般質問



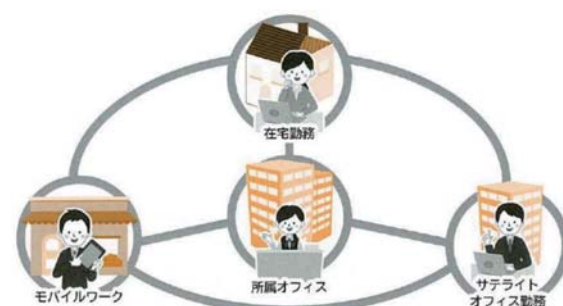
井関 陽一

働き方改革について

Q 電子決裁の現状と今後の予定は

A 決裁業務の効率化等を図るため、令和2年8月から、政策企画部内において、電子決裁を運用している。決裁の一連の流れを電子的に行うことにより、履歴確認も可能で、紙が不用であるため、コスト削減につながっている。

今後、新生活様式対応行政サービス構築事業において、公民館のサテライトオフィス化や業務内容にに応じて、職員が本庁支所へ出勤することなく、分散勤務できる環境を構築し、全部署への導入を計画的に進める。



厚生労働省ホームページより

※RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入への取り組みはふるさと納税の御礼状の作成、送付等の業務において、他市の事例では職員の負担が大幅に軽減されている。

西予市のふるさと納税の件数は年々増加しており、御礼状の作成、送付等の業務においてのRPA導入は一考に値する。

一般質問



源 正樹

行政のデジタル化について

Q マイナンバーカードの取得率と普及促進への取り組みは

A 令和2年10月末時点で、27・25％であり、全国平均（21・30％）、県平均（19・49％）で県内1位の取得状況である。

普及促進のため、写真の無料撮影だけでなく、市民課の専用ブースにおいて申請サポートを行なっており、できるだけ少ない負担で交付申請できる体制を取っている。

Q せいの暮らしのアプリの利便性向上への取り組みは

A 現在、ホームページ掲載の情報や、ごみの日のお知らせ、防災行政無線放送の

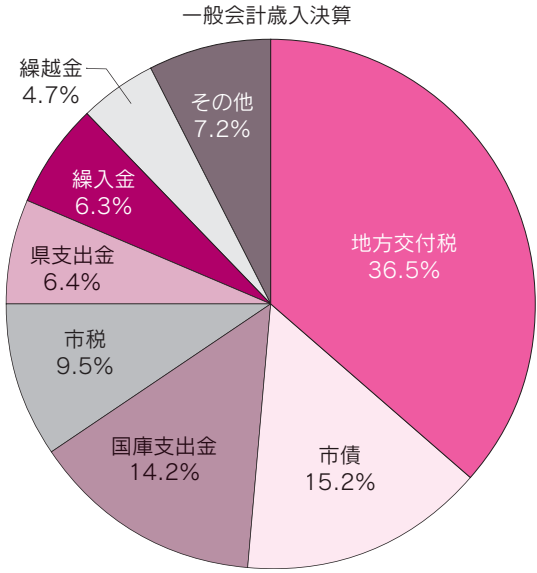


マイナンバーカード申請窓口

内容を午後8時にプッシュ通知でスマートフォンに提供しており、市ホームページを補完するものとしている。

今後、ホームページのリニューアルが必要となる。その際には、防災、観光、子育て、健康情報などを集約した利便性の高いアプリの構築、導入も含めて検討する。

歳入決算の集計	
地方交付税	122億3203万円
市債	50億7962万円
国庫支出金	47億4939万円
市税	31億8204万円
県支出金	21億3311万円
繰入金	21億2559万円
繰越金	15億6494万円
その他	24億4383万円
歳入合計	335億1055万円



一般会計決算	歳入 335億1055万円	歳出 317億192万円
特別会計決算合計	歳入 133億6840万円	歳出 130億1085万円
公営企業会計決算	総収益 51億2766万円	総費用 53億1702万円
(経営成績総括より 消費税抜)		

令和元年度決算を認定

保育所管理・施設整備
4億2096万円



乙亥会館復旧
10億8464万円



明浜支所庁舎建設
5億3088万円



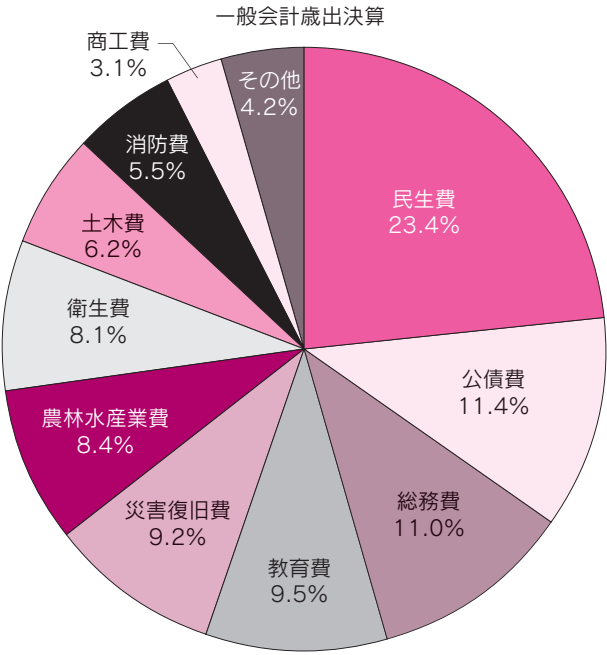
し尿処理
1億2632万円



給食センターの運営・建設
2億5760万円



橋りょう整備
1億4028万円



歳出決算の集計	
民生費	74億1914万円
公債費	36億2892万円
総務費	34億7650万円
教育費	30億508万円
災害復旧費	29億494万円
農林水産業費	26億6750万円
衛生費	25億8338万円
土木費	19億7146万円
消防費	17億4472万円
商工費	9億6822万円
その他	13億3206万円
歳出合計	317億192万円

一般会計	
歳入総額	33,510,552,794円
歳出総額	31,701,919,087円
差引残高	1,808,633,707円

※金額は、万円未満を調整しております。
そのため、端数と内訳の合計が一致しない場合があります。

令和3年度予算編成にむけて
「提言書」を市長に提出

決算審査特別委員会
における審査意見をま
とめ、10月9日市長
に提言を行いました。



管家市長・中村議長・山本決算審査特別委員会委員長

市民と議会との意見交換会を開催しました

西予市議会では、「開かれた議会」を目指し、市民の皆さんから議会や市政に対するご意見を伺う「市民と議会との意見交換会」を開催しております。

今までは、旧小学校区単位で公民館等を会場に地域の皆さんに集まって頂き、声を聞かせていただきました。

海・里・山・地域が変われば意見も違う、改めて市民の皆さんとの意見交換の重要性を感じています。

令和2年度は、各種団体や様々な職種の方との意見交換を進めています。

11月には、商工会青年部宇和支部の皆さん、保育士の皆さん、消防団の皆さんと意見交換を行いました。その内容を紹介します。



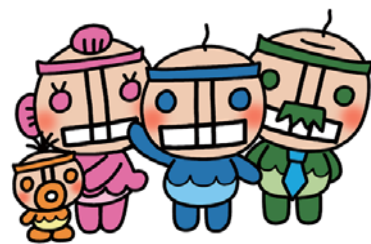
保育士の皆さんとの意見交換 11月4日開催

西予総合福祉会から各園の施設長、副施設長、主任保育士、保育士の9名の皆さんが参加して頂きました。

保育士不足に関すること

西予市が行っている看護師に対する奨学金助成のような制度を保育士にも設けてほしい。

国が定めている保育士の配置基準が何十年も変わっておらず保育士1人当たりの負担が大きいく実情に合っていない。基準の見直しを働きかけてほしい。



医療機関について

園児がケガをした際、病院へ連れて行くが水曜日と木曜日の午後は、市内の医療機関が休診等で診てもらえず市外の病院に連れて行くことがある。曜日に限らず市内の医療機関で受診できればありがたい。

放課後児童クラブについて

学童保育を希望する方が増えている。既存施設が狭いため、小学校などを間借りして活動している。学童施設の整備などハード面を充実してもらいたい。下宇和地区の学童保育施設「明下田クラブ」を建設しているが駐車場が少ないのが気になる。

西予市消防団幹部の皆さんとの意見交換 11月4日開催

消防の広域化について

消防団としても広域化は避けて通れないと思う。三瓶の体制、消防団員の確保の問題など常備消防との関わりがあり、消防力が向上するのであればよいと思う。

議会への要望

耐震性貯水槽を要望して10年経つがまだ設置できていないところがある。

水利確保ができるように搬入路を拡張してほしい。

デジタル無線もしくはIP無線の導入を検討してほしい。



消防体制検討特別委員会のうぶき

令和2年11月10日に委員会を開催し、消防庁舎改築計画の変更について消防本部から説明を受けた。

西予市の消防本部庁舎は昭和53年9月、野村支署は昭和53年6月に建設された。当初の建設予定では、本部庁舎を令和3年から、野村支署を令和4年から建設することになっていた。

令和2年、消防の広域化を目指し、宇和島地区消防本部と通信指令センター共同運用の調査を進めることになり、建設スケジュールが変更になった。消防本部が共同で通信指令センターを整備することは、非常に大きな役割を果たすと考える。設備整備費や維持管理費などの経費が削減できること、また災害発生時の情報が共有され応援要請を待つまでもなく素早い応援体制がとれる。

これからの消防体制を考えると消防施設をしっかりと整える

ことが重要である。

宇和島地区消防本部と協議の中で通信指令センターを何処に設置するかで本部庁舎建設に影響が出てくる。変更後は、野村支署を令和4年に建設工事を始め令和5年供用開始とする。

本部庁舎は令和5年に建設を始め、令和7年に供用開始となる。

委員会の方向性

委員会としても、消防庁舎建設は大変重要な問題として捉えている。防災の拠点となる消防庁舎は近い将来発生する大規模災害への対応を踏まえて耐震性のある庁舎建設を望んでいる。南予地区の拠点として消防・救急の充実が図れるよう積極的意見を出し、より良い消防体制を築けるよう活動していく。

また、常備消防についても引き続き調査研究を行っていく。



きかせて！あなたの夢



西予市の小学生が将来の夢を語るコーナーです。



加藤 亨盛さん (多田小学校 6年)

ぼくの将来の夢は、IT企業で働くことです。理由は、パソコンを使ったり、インターネットを利用したりするのが好きだからです。また、父がパソコンを上手に使って仕事をしているのを見て、格好いいなと思ったからです。パソコンを使うことは、なかなか難しいかもしれませんが、あきらめずに練習して、上手に使えるようになりたいです。

やってみたいこともあります。それは、ユーチューブです。ぼくはスマートフォンで、いろいろな人の動画を見たことがあります。その動画を見ている人の人数を確認すると、100万人や200万人と記録してありました。それくらい見られているというのは、とてもすごいことで、見られている人は、きっとうれしいと思います。ぼくも、そんな動画をアップしてみたいなと思っています。

議会レポート

1 11月10日、議員全員協議会室において、水谷紀子氏（オフィスカラー）を講師に迎え、ハラスメントに関しての議員研修会を行いました。ハラスメントの正しい理解を深め、加害者にならないため、また健全な議会運営のために実践を交えての研修を行いました。



2 11月に開催した市民と議会との意見交換会（関連記事2・3・18・19ページ）で皆さんからお聞きしたご意見を提言書にまとめて、12月18日に市長に提出しました。

（左から、宇都宮俊文市民と議会との意見交換会副実行委員長、管家市長、中村議長、源実行委員長）

◎編集委員
委員長 佐藤 恒夫
副委員長 信宮 徹也
委員 和氣 数男
宇都宮 久見子
河野 清一
山本 英明
源 正樹



令和2年の新語・流行語大賞は「3密」が選ばれ、国・地方自治体が「感染拡大防止と経済活動」の両立に腐心した1年でした。
秋以降、第3波が猛威をふるい始め、コロナ対策も含めた国の第3次補正予算19兆円が閣議決定、新年は「アクセス」と「ブレーキ」を上手に使い、1日も早く「コロナのいない日常」を取り返し「議会だより・かけし」を発行できる日を願う毎日です。
和氣 数男

編集後記

